



ヌマール。

NUMARU

シナリオ・企画：みんみん
作画：真冬



はあ…



ガタ
ガタ
ゴト
ゴト



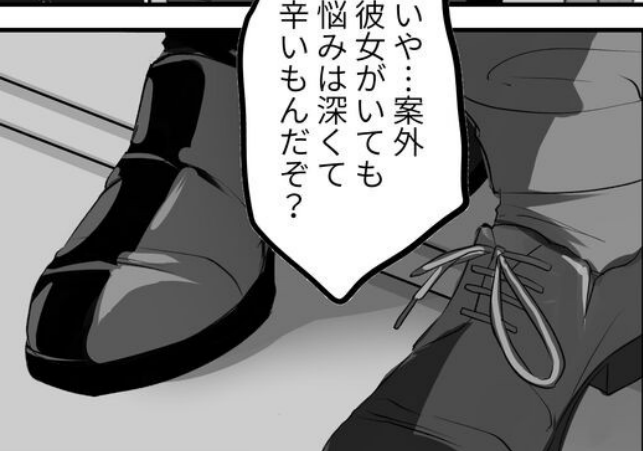
うらやましい悩み
持ちやがって

どーせまた欲求不満だとか
そういうたぐいなんだろう？



まあ…

なんだ？
溜息ついて。
また彼女の
悩みか？



いや…案外
彼女がいても
悩みは深くて
辛いもんだぞ？



やっぱり
贅沢な悩み
なんだろうか？



よく言うよな
しかもそれを
独り身の俺に
話してくるなんて

……

周りから見れば…

彼女とは
月に1、2度会う

彼女は実家暮らしなので
俺の家に泊まりに来るのが
お決まりだ

夜、同じベッドで寝れば
まあ、することになるわけで…

ニ
ア
キ
ュ



前戯もして

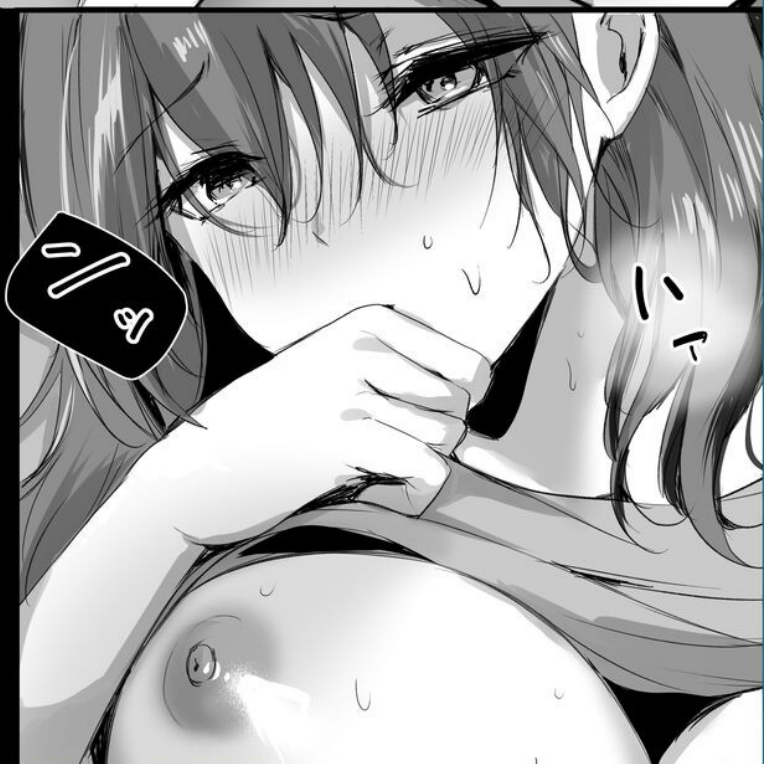
攻めに攻めて…

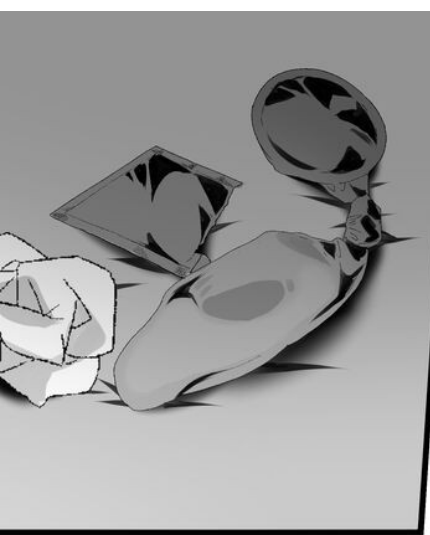


キスして
抱きしめて



繋がって…





でも高揚感というか
満足感というか

滅茶苦茶にして
やりたいとかいう…



そんな感覚が…
無い



Google

- 彼女 マネリ化
- 彼女 結婚
- 彼女 浮気

検索

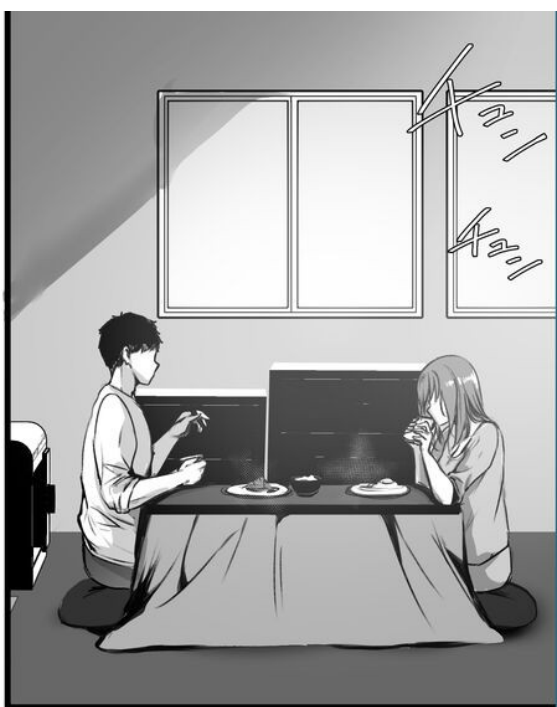


ん
…明後日
仕事早いし…

明日は
お昼ぐらいに
帰ろうかな…

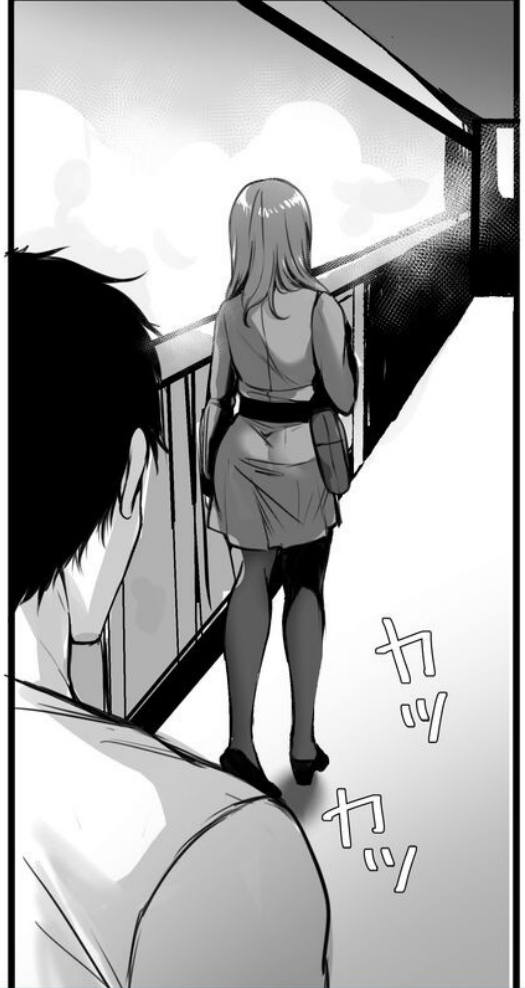


明日…
どっか出かける？



うん…
そうだね

そっか
じゃあ
また月末だな



じゃあ
私今日はここまで



これが
マンネリっていうもんなのか…
いつからか
彼女に対しては恋愛…というより
家族愛？のようなものになつて…



俺の中では…
なんというか

恋人とは
違う存在になっていた



うん？



ズッ

はい…

突然すみません…

一週間前に隣に
引っ越してきたん
ですけど…

ハッ

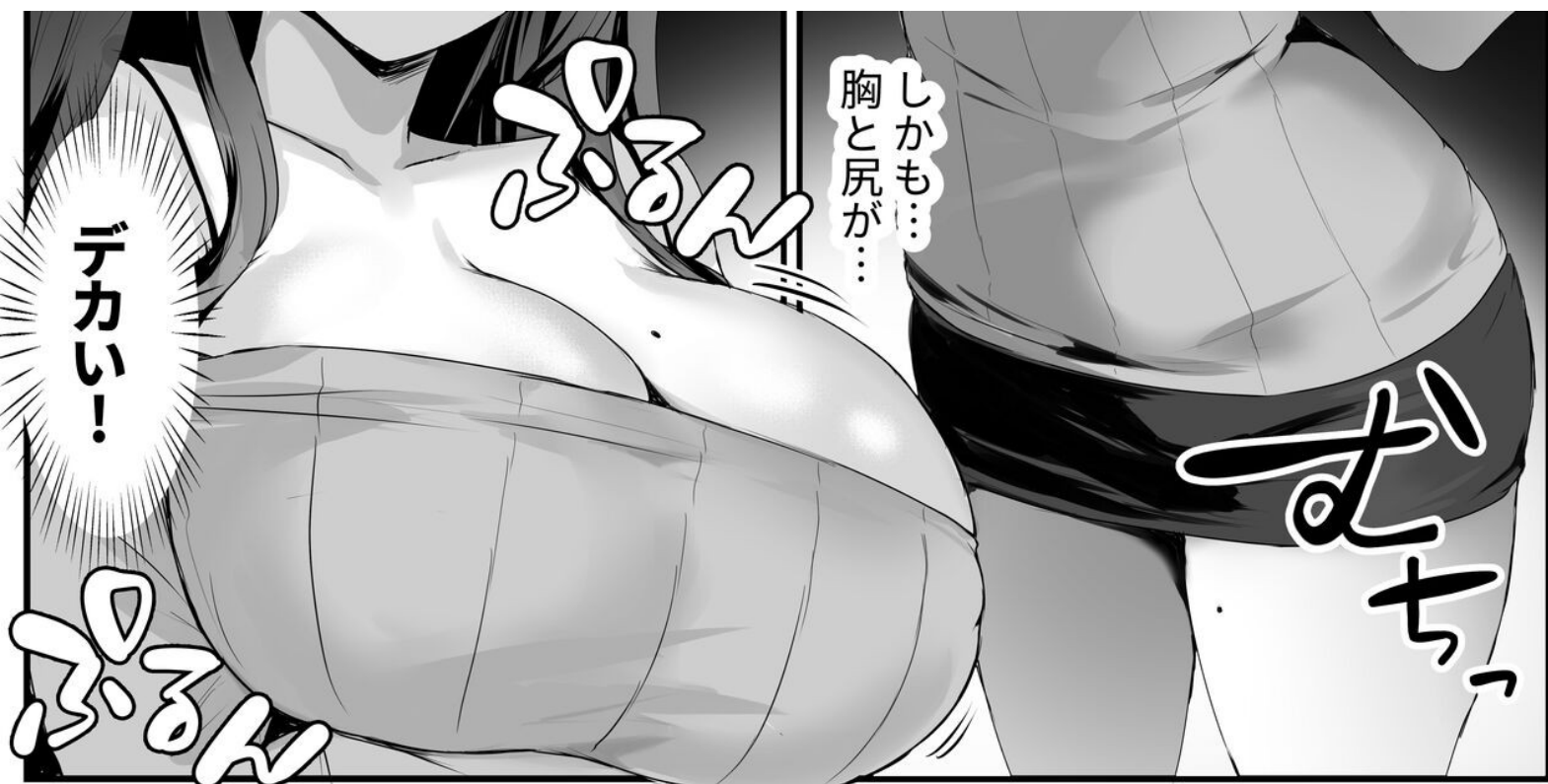
うわ…！

ムキ

加賀 里香
って言います…

たゆん

めちやめちや
美人…！



デカイ!

ぶるん

しかも…
胸と尻が…

むっ

ぶるん



あの…これ
つまらないもの
ですが…

ありがとうございます
橋本 宏隆です…
わざわざすみません



スッ



好きです!

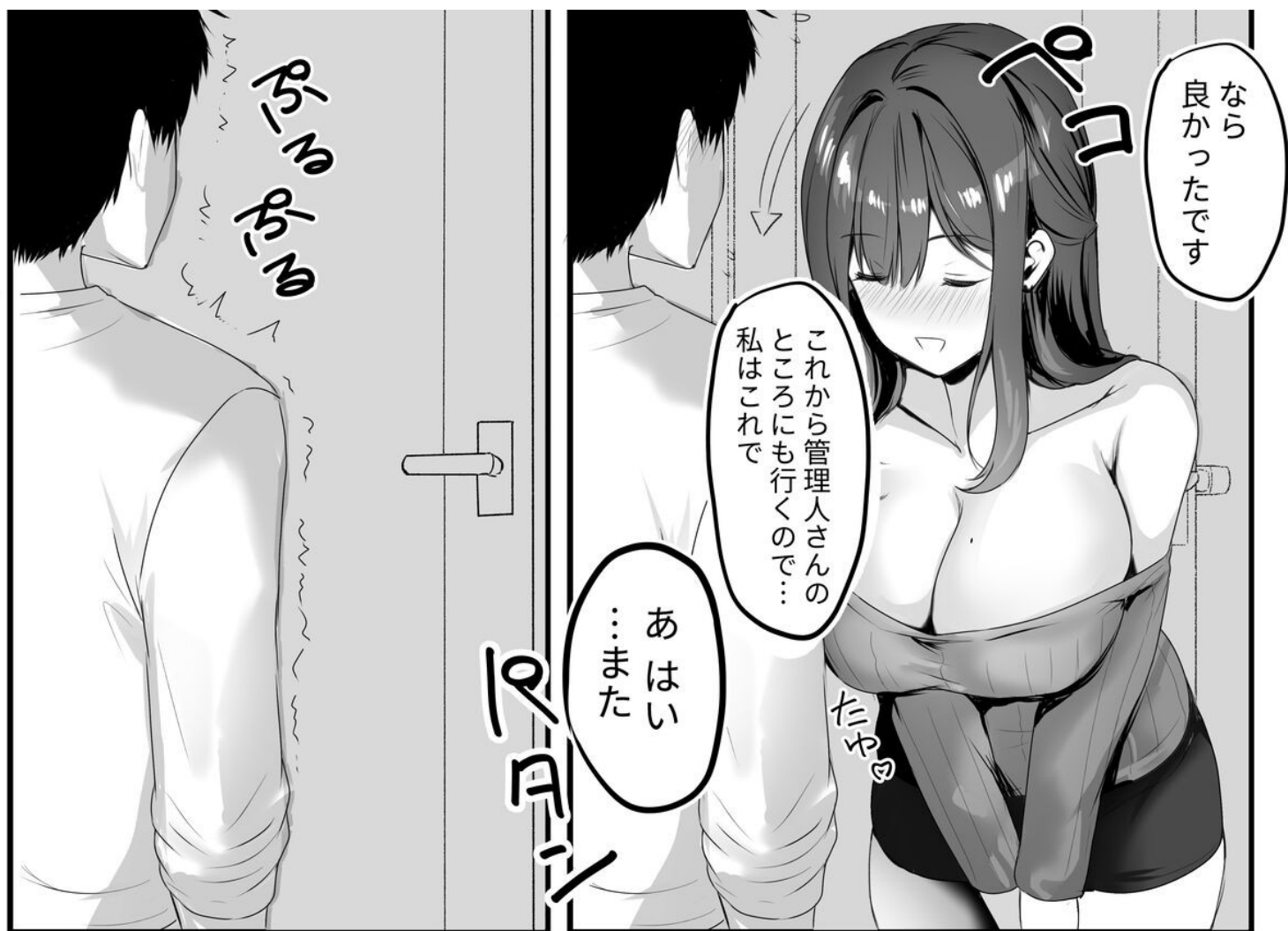
甘いものとか…



いえっ

お菓子好きなら
いいんですが…

ニコッ



なら良かったです

これから管理人さんのところにも行くので…私はこちらで

あはい…また

ふるふる

トク

たや♡

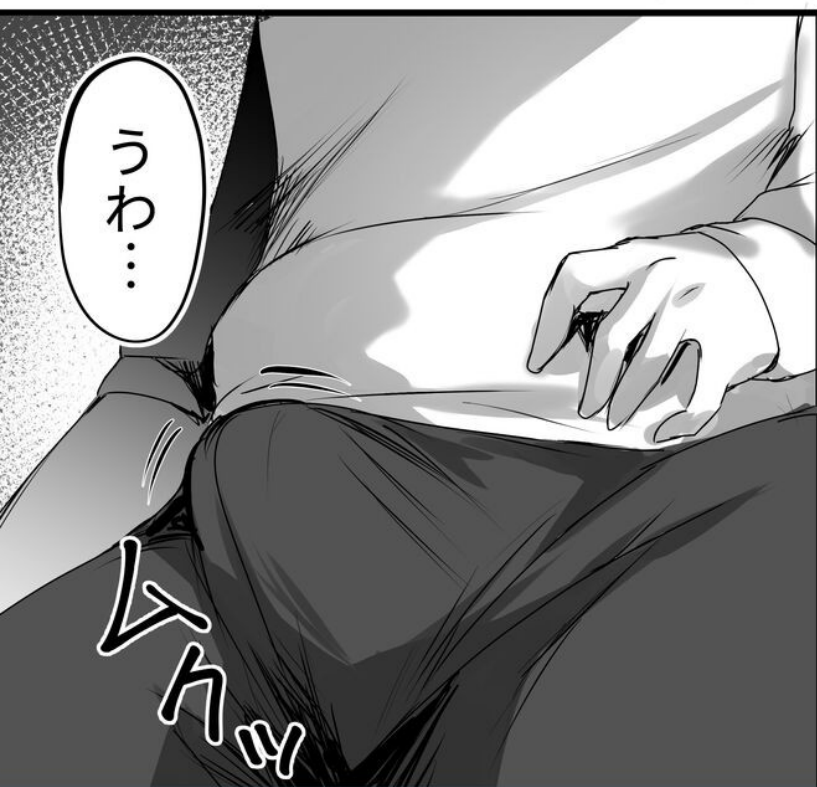


うわ…すっごい美人だった…!

胸も尻もデカくて…色白で…

てかほくろの一つ一つがエロすぎだろ…

はわわわ…



うわ…

ムン

それから
ちよくちよく
お隣さんとは顔を
合わせることも
あった

ガキヤツ

あっ

おはようございます

おはようございます
朝早いですね

はい♪
駅にあるカフェの
モーニングセットを
食べに行つてて

ゴツ

ゴツ

あーあそこ
美味しいですもんね

そんなある日だった

ごめん
ひろくん



今週
行けそうにないや...

会おうと思えば
別日にいくらでも
会えるし

うん
ありがとう

オッ...

そっか...まあ
仕方ないよ
仕事入ったんなら



ハァ

家に二人でいると
不意に寂しくなる瞬間がある
もう一人暮らしなんて
何年もしてるのに

心の虚しさ
どうしようもない寂しさが
押し込んできて
一人でする回数も増えた

ハァ

ハァ



変わったことといえば…

AVを見てやる度に頭の中で
思い浮かべるのは彼女ではなく

隣人の里香さんだった

あの胸に抱かれて
お尻を揉みしだきながら

滅茶苦茶に乱れさせて
思いつきり中出ししたい！

ハァ

ハァッ

ハァ

ビクッ

ビクッ

ハァ

あっ♡
里香さんっ!!

誰だよ…!!
こんな時に…!!

もう少しで
射精そうだったのに…!!

はい
今出ます！

はっ...っ...

グ
キ
ヤ

里香さん!?

やばい白ティ...
黒いブラうっすら
透けてるし...

しかもホットパンツとか...
太もものほくるエロツ...

あ...すみません
もしかして...
忙しかったですか?

あいや...!
全然大丈夫です

むちっ

あの...肉じゃが...
大量に作っちゃったので
良かったらいるかな...
なんて...

まずい...
さっき途中で
終わっちゃったから...
めっちゃめっちゃ勃ってる...

せ
ー
せ
ー

やばい！視界に
入るものすべてに
反応する！

デレ...

あ...はあ...
ありがとうございます
ございます

あの...

ここ凄いいことに
なってますよ...?

えっと...
これは...その...

それに

知ってました？
このアパート
物凄く壁が薄い
みたいなんです

ニヤ...

スッ

えっ...
それって...

さっき私の名前
呼んでましたよね？

いやさっきだけ
じゃないか♥

いやらしい声も
漏れてましたよ？

ねえ一体何回私で抜いたんですか？

僕は彼女と付き合っって長くて結婚も考えていて

マズイマズイ
マズイマズイ...

ねえ想像だけじゃなくて...

実物の私で抜いてみませんか？

だからこんなハニートラップみたいな

絶対あっちゃイケナイって...

彼女も世間体も失うようなコト...

ははは

グッ

さわ...

グッ

アッ



ほらこれ宏隆さんの
好きにしていいいんですよ？
いっつも
見てましたもんね？
私のおっぱい

おっぱい気持ちよすぎる！
手からはみ出すほど
デカくて…重くて…！！

おっぱい

もう無理だ！

ゆさ

ゆさ

るん

こんなのが目の前にあって
我慢できるはずなんてツ

フフツ
そんなに夢中にな
るなんて…嬉しい♡

はあ

飽きるまで
好きにして
いいですよ♡

んっ♡

ガッ

ハッ

ハッ

きゅんううう



やだ
恥ずかしいから
言わないで♥

む
ん

む
ん



乳首…
可愛い



ここ、こんなに
勃起させて…



はあ

はあ…

宏隆君の触り方…
すごく好き♥

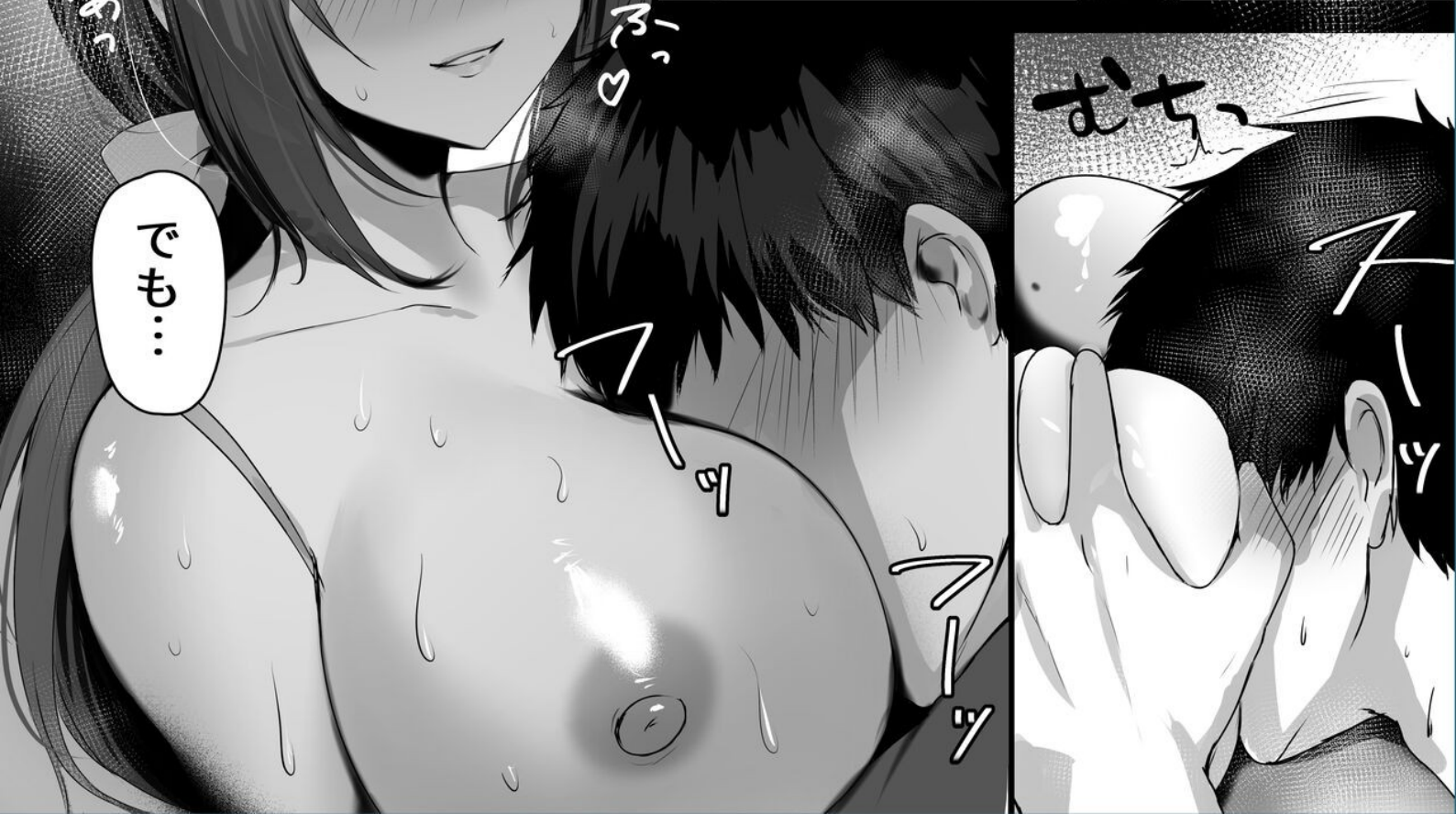
んっ
っ♥



可愛い♥
まるで赤ちゃんみたいね
すごく気持ちいい♥

ちゅわろ

くわくわく...
くわくわく...

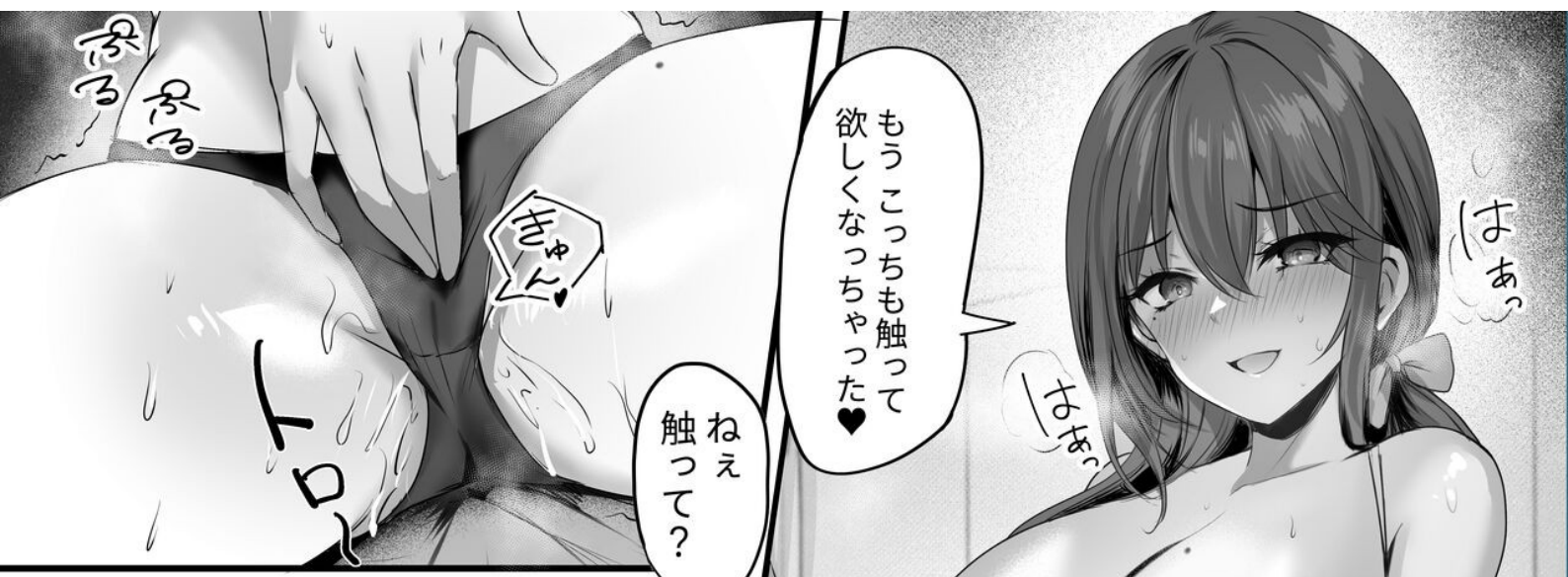


でも...

あちゅ

くわくわく...
くわくわく...

くわくわく...
くわくわく...



ねえ
触って？

もうこっちも触って
欲しくなっちゃった♡

はぁ

はぁ

ぎゅん

あ
あ



んっ♡
気持ちいい♡

すんごい...
△△△△...

ちゅ

ちゅ



いっ

あ

あ

しゅわ...



い

宏隆君のここも
ずっと辛そうね？♡



ナカもう熱くて
火照ってますね

カラダずっと
びくびくしてる...

最近誰かと
してなくて...

い

い



かわいい♥
いじめたく
なっちゃう♥



こんなに
大きくしちゃって…



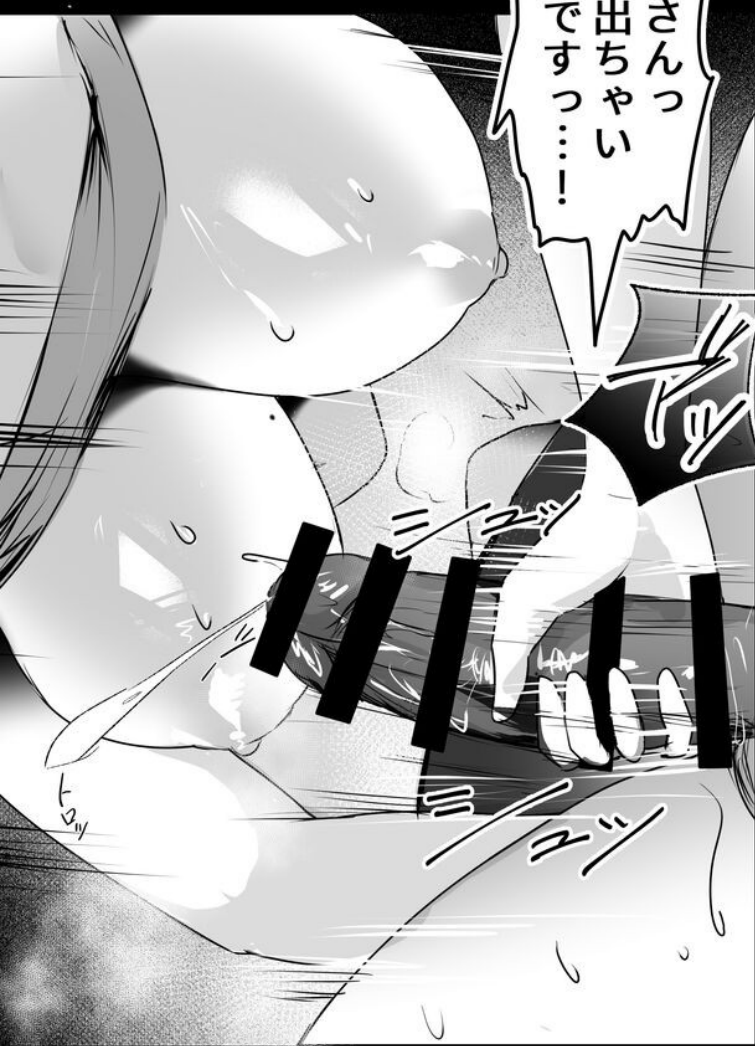
ねえ?
気持ちい?♥

えっ

あっ!
気持ちいッですッ!



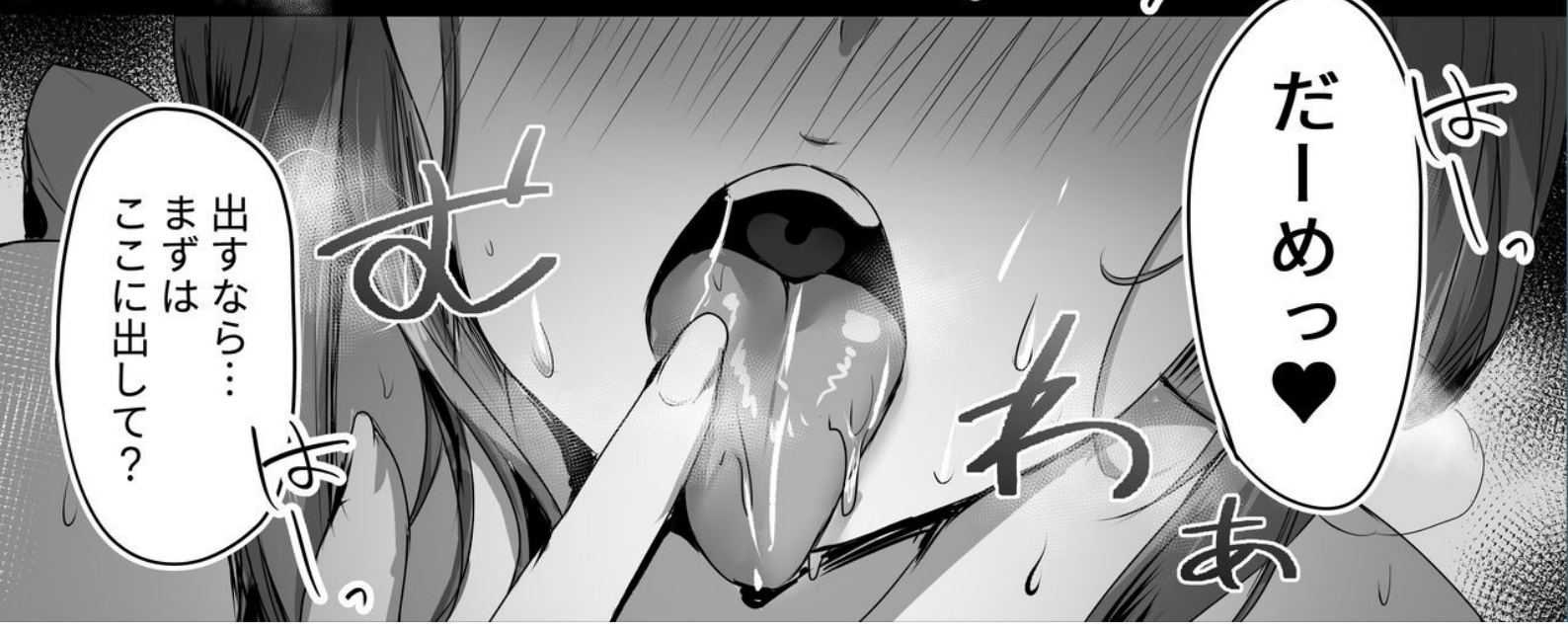
里香さんっ
もう出ちやい
そうですっ…!!



あっ!
それっ…ヤバいッ

おっ!!

おっ!!



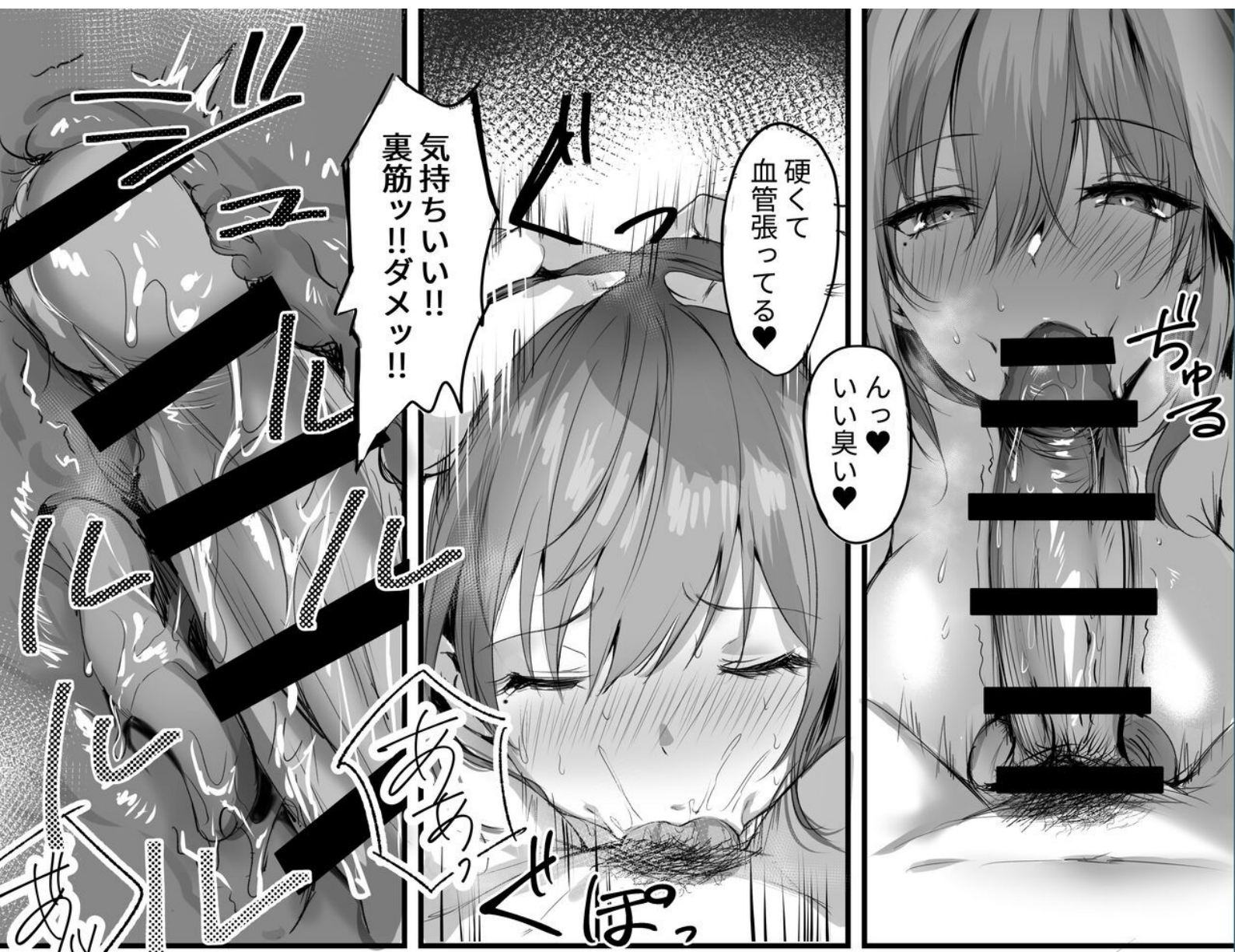
だーめっ♡

出すなら…
まずは
ムンクヨッっ…

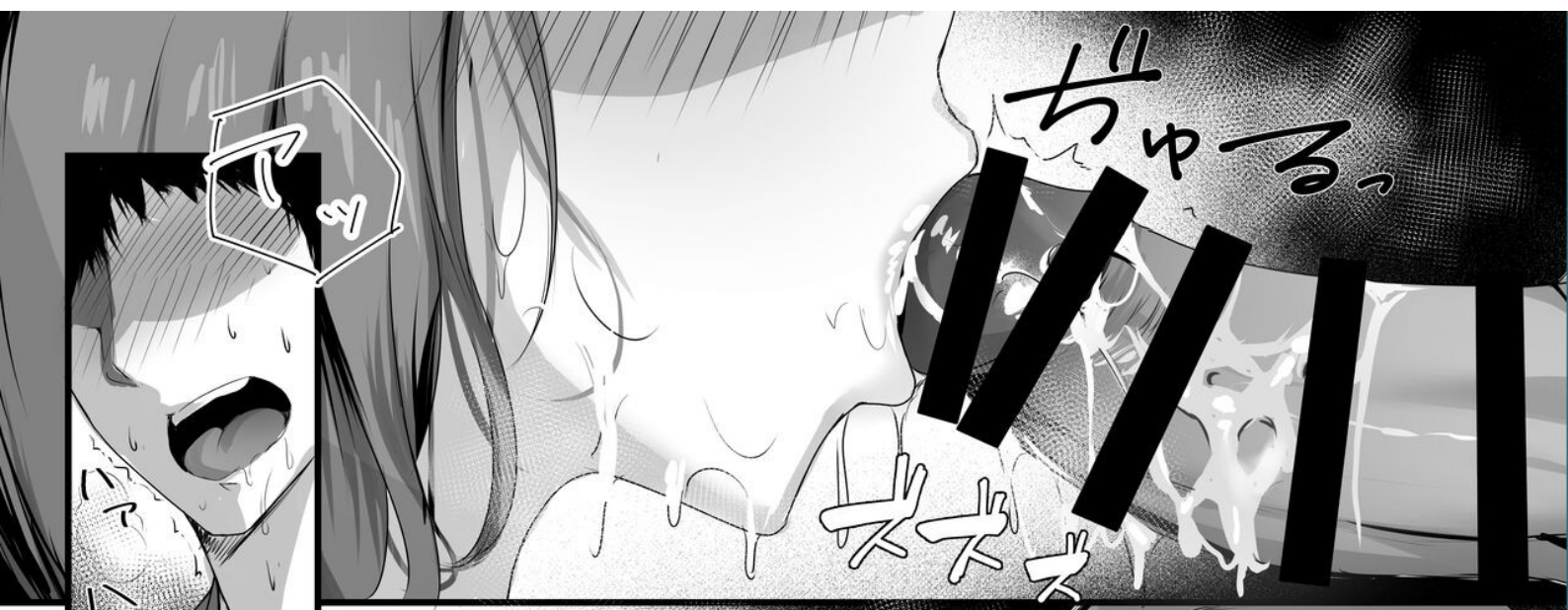
あ

あ

あ







いっぱい出たのに
まだ元気だね♥



お口
ベタベタあ♥



次は一緒に
気持ち
よくなる番ね♥

それから
僕は…

あんな
宏隆君のおちんぽ
大きすぎてキツキツ…!

里香さんのナカ…
熱くて
気持ちいですッ!

良かった♡
一緒に気持ち
良くなる?♡



あんな

ギョ

ギョ

ちゅ

ちゅ

たぶん

あんな

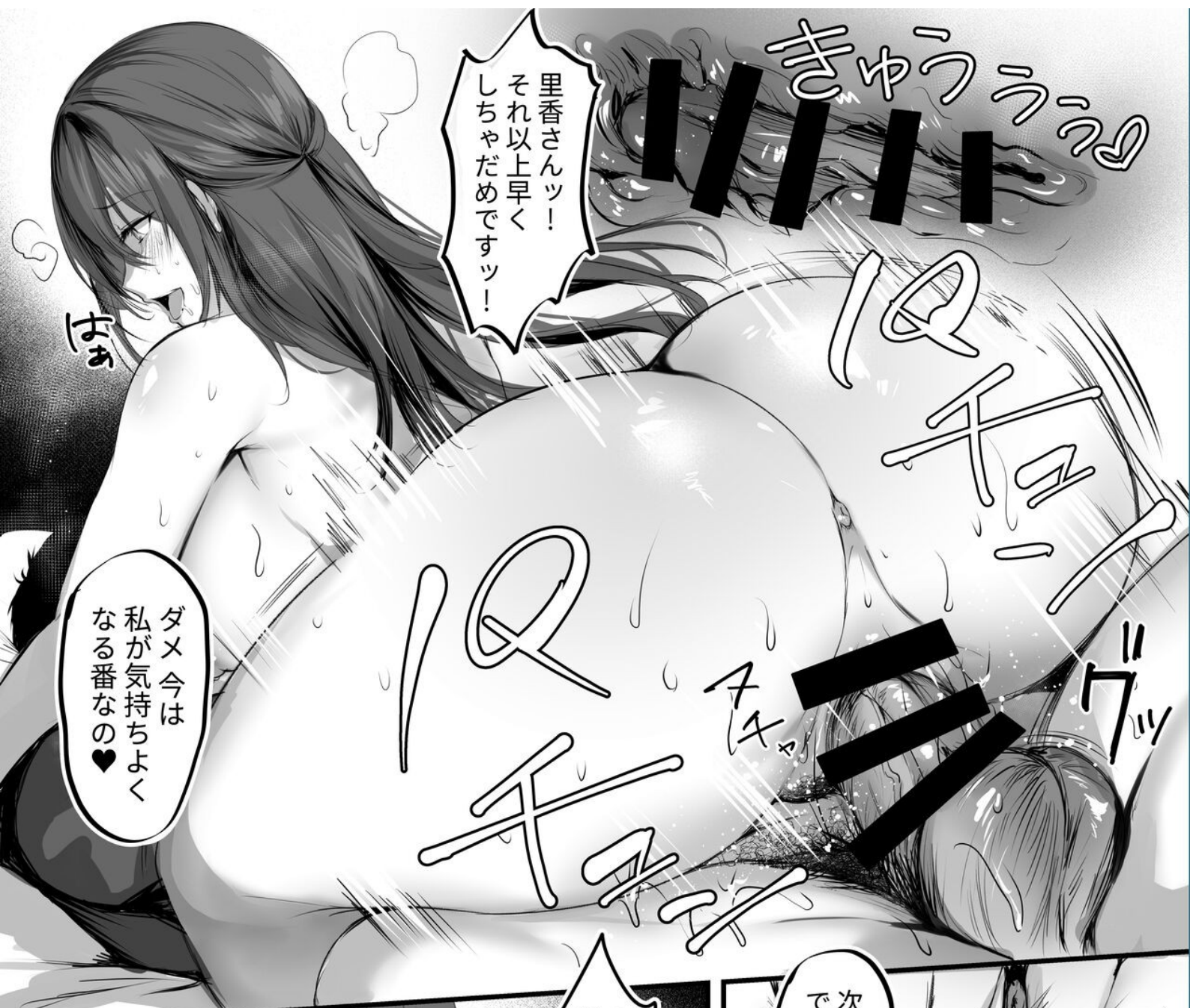
あ

あんな

あんな

あ

あ



里香さんッ！
それ以上早く
しちゃだめですッ！

はぁ

ダメ今は
私
が
気
持
ち
よ
く
な
る
番
な
の
♡

きゅうううう

クッ

クッ

クッ



あっ♡
だめえッ♡

その態勢
すぐイっちゃう
からあ！

クッ
クッ



次は僕の番
ですからね

きゅう

キュウウ



クッ責め
やらあ！♡

クッ♡

クッ

これ好き
なんですネッ

あ
あ
あ

あ
あ

なら
イっちやえ!!

あ
あ

あ
あ

きゅん♡

きゅん♡

あっ♡あっ♡
いめんないっ!!



やらッ!
おケツの穴
開かないでっ

恥ずかしい
からあ!



里香さんのお尻
最高です!

見られて
興奮するとかッ

ちよ、そんな
締め付けられたらッ!



とろん

里香さん変態ッ!

変態でも
イイからッ

この中にせーし
ちようらいい!

ブルン

ぎゃん

ワッ

ワッ

ワッ

ワッ

ワッ

ワッ

ワッ

ワッ

イクイク
イクイクツッ！

それは
あまりにも
気持ちよすぎる
エッチで：

宏隆くんっ
きもちいい♡

里香さん：
僕も：僕も
気持ちいですッ

何もかもを
忘れてしまっ
くらいだらな！

その日以来、
僕と里香さんは
時折体を重ねることがあった

里香さんの身体にも

テクニクにも…

何もかもにハマっていくのが
自分でも分かっていった。



お互いがお互いを
求めあって

ハア…あっ！
イクツ…！！

まるで獣みたいに
激しいエッチを繰り返した。

身も心も
満たされていた
ある日

びゅん

彼女は何も告げずに
引越していった：

俺の身体には里香さんとの
快感がすっかり刻まれていて…

どろっ

しゅん

しゅん

そしてその快感を
忘れることなんてできずに、
未だにヌマに浸かっている……